学校番号	３０１８

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	工業技術基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	工業「工業技術基礎」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

工業技術や素材研究、造形活動に関する基礎的な知識と技術を、講義と実習を通じて学びます。身近な素材（木・粘土・繊維・ガラス等）に触れ、その素材がもの・かたちになるまでの工程を体験します。その中で、それぞれの素材の特性を理解し、形態に工夫を凝らした作品を制作するための基礎力、応用力を養います。様々な素材に適した道具の扱いや、安全な加工方法を身に付けます。授業では、作品制作に関わる真摯な態度も重視します。

2　学習の到達目標

・ものづくり、造形活動の基本的な態度と技術を身に着ける。
・様々な造形素材に触れることにより素材の特性を掴み、かつそれぞれの素材に合った加工の方法や技術について学ぶ。
・工具等の正しい使い方を身に付け、扱いに慣れることで、その経験を今後の制作活動に生かせるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・工業技術、素材に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ・環境に配慮した合理的なものづくりを計画し、学んだ知識・技術を適切に活用している。	・工業技術、素材研究に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、素材やその加工に関する基礎的、基本的な知識と技術をもとに、技術者として適切に判断し表現する創造的表現をしている。	・工業技術、素材研究に関する課題について関心を持ち、主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	素材と加工技術①	・ガラスに触れる ・ティファニー技法による制作 「ガラスのカットとはんだづけ」 「平面作品制作」	a:素材の特徴を知り、作品制作について基礎的・基本的な知識を身に付けている。それぞれの素材に適した成型方法を理解し制作することができる。 b:作業工程を理解し、素材の特徴を生かした表現を計画的に進めながら、創造的に表現している。 c:素材そのものや加工技術について関心を持ち、道具を正しく使用して、安全かつ意欲的に取り組もうとしている。	学習状況の観察 作品	学習状況の観察 作品	学習状況の観察
	素材と加工技術②	・土を学ぶ 「粘土の再生」 ・陶板を作る 「土練り、板づくり」 「形態の作成」 「乾燥から素焼き」 ・釉薬について 「釉薬がけと本焼き」				
2学期	ものづくりの歴史	・工業の分野と歴史 ・材料になる素材と製造工程	a:素材に関する基礎的・基本的知識を身に付けている。 b:工業分野の歴史や製造工程を知り、現代社会における造形活動の意義や役割を理解している。 c:ものづくり、工業分野について関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート レポート	レポート	学習状況の観察 ワークシート レポート
	素材と加工技術③	・木材に触れる 「バターナイフの制作」	a:素材の特徴を知り、作品制作について基礎的・基本的な知識を身に付けている。それぞれの素材に適した成型方法を理解し制作することができる。 b:作業工程を理解し、素材の特徴を生かした表現を計画的に進めることができる。 c:素材そのものや加工技術について関心を持ち、道具を正しく使用して、安全かつ主体的に取り組もうとしている。	学習状況の観察 ワークシート 作品	学習状況の観察 ワークシート 作品	学習状況の観察

3学期	素材と加工技術④	・染色の化学 ・草木染を学ぶ 「原料から染料をつくる」 「毛糸の染色」 ・布の製造加工法を学ぶ 「織りの技法による制作」	a:素材の特徴を知り、作品制作について基礎的・基本的な知識を身に付けている。それぞれの素材に適した成型方法を理解し制作することができる。 b:作業工程を理解し、素材の特徴を生かした表現を計画的に進めることができる。 c:素材そのものや加工技術について関心を持ち、道具を正しく使用して、安全かつ主体的に取り組もうとしている。	学習状況の観察 作品	学習状況の観察 作品	学習状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度